

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 4 部門第 1 区分  
【発行日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【公表番号】特表2011-500989(P2011-500989A)  
【公表日】平成23年1月6日(2011.1.6)  
【年通号数】公開・登録公報2011-001  
【出願番号】特願2010-528473(P2010-528473)  
【国際特許分類】

**E 0 1 B 9/68 (2006.01)**

【F I】

E 0 1 B 9/68

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月5日(2011.10.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

鉄道線路の足部と、鉄道の基礎との間に配置される鉄道線路パッドであって、  
線路の足部を受けるための線路座部分を有し、  
前記線路座部分の二つの対向した縁は、パッドが使用中であるとき、線路の軸線方向に  
平行に延び、

前記線路座部分は、少なくとも一方の主要面に複数のスタッドを備え、

前記スタッドは、前記線路座部分の前記主要面に設けられた突出部のみからなり、

前記スタッドが占める前記主要面の面積と、前記スタッドのない前記主要面の面積との  
割合が、前記線路座部分の縁領域では、前記線路座部分の中央領域におけるよりも大きく  
なるように、前記スタッドが線路座部分の前記面に亘って不均一に分配され、

前記縁領域は一方の前記縁に隣接し、前記中央領域は前記縁領域に隣接し、

前記スタッドは、また、前記対向した縁と実質的に平行に延びる縦列に配置され、各ス  
タッドは、実質的に同じ大きさのものであり、

前記中央領域の前記縁領域に最も近い前記縦列のスタッドの数は、線路座部分の中心に  
近い縦列におけるよりも多く、

前記スタッドは、また、前記対向した縁と実質的に直交して延びる横列に配置され、

前記線路座部分の中心に隣接し、中心から間隔を隔てたスタッドの横列の突出部と、突  
出部のない面積との割合が、前記中心からより遠い横列における割合よりも大きく、

これにより、前記縁領域及び前記中央領域のスタッドの数と位置によって、前記パッド  
の剛性及び摩耗特性が決定される、パッド。

【請求項 2】

前記割合は、前記線路座部分の他方の前記縁に隣接した、他方の縁領域では前記中央領  
域におけるよりも大きい請求項 1 記載のパッド。

【請求項 3】

各スタッドの面積は等しく、スタッドの間の間隔は変わる請求項 1 又は 2 記載のパッド  
。

【請求項 4】

前記スタッドは、前記線路の長手方向軸線と平行に延びる、前記線路座部分の第 1 の中  
心線に対して対称に分配されている、請求項 1 から 3 のうち何れかに記載のパッド。

**【請求項 5】**

前記スタッドは、前記線路の長手方向軸線と垂直に延びる、前記線路座部分の第 2 の中心線に対して対称に分配されている、請求項 4 記載のパッド。